

ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用製品 及びPCB廃棄物の期限内処理に向けて

PCB廃棄物は定められた処分期間までに処分しなければなりません。
高濃度PCB廃棄物は、期限を過ぎると事実上処分することができなくなります。

令和5年 10月版

高濃度PCB廃棄物の処分期間

安定器及び汚染物等

北海道(室蘭)・東京事業エリア

2023年3月31日まで
(令和5年)
(処分期間終了)

安定器及び汚染物等

北九州・大阪・豊田事業エリア

2021年3月31日まで
(令和3年)
(処分期間終了)

変圧器・コンデンサー等

北海道(室蘭)事業エリア

2022年3月31日まで
(令和4年)
(処分期間終了)

変圧器・コンデンサー等

東京事業エリア

2022年3月31日まで
(令和4年)
(処分期間終了)

変圧器・コンデンサー等

豊田事業エリア

2022年3月31日まで
(令和4年)
(処分期間終了)

変圧器・コンデンサー等

大阪事業エリア

2021年3月31日まで
(令和3年)
(処分期間終了)

変圧器・コンデンサー等

北九州事業エリア

2018年3月31日まで
(平成30年)
(処分期間終了)

低濃度PCB廃棄物の処分期間 2027年3月31日まで
(令和9年)

1

PCBとはどんなものですか？

PCBの用途

PCBは電気機器用の絶縁油、各種工業における加熱並びに冷却用の熱媒体及び感圧複写紙など、以下のとおり様々な用途に利用されていました。現在は新たな製造が禁止されています。

| 用途 | 製品例・使用場所 |
|-------------------|--|
| 絶縁油 | 変圧器用 ビル・病院・工場・鉄道車両・船舶等の変圧器 |
| | コンデンサー用 変電所等の電力用コンデンサー、蛍光灯の安定器・テレビ・電子レンジ等の家電用コンデンサー 直流用コンデンサー、蓄電用コンデンサー、医療用X線装置用コンデンサー |
| 熱媒体（加熱用、冷却用） | 各種化学工業・食品工業・合成樹脂工業等の諸工業における加熱と冷却、船舶の燃料油予熱 集中暖房、パネルヒーター |
| 潤滑油 | 高温用潤滑油、油圧オイル、真空ポンプ油、切削油、極圧添加剤 |
| 可塑剤 | 絶縁用 電線の被覆・絶縁テープ |
| | 難燃用 ポリエステル樹脂、ポリエチレン樹脂 |
| | その他 ニス、ワックス・アスファルトに混合 |
| 感圧複写紙 塗料・印刷インキ | ノンカーボン紙（溶媒）、電子式複写紙 印刷インキ、難燃性塗料、耐食性塗料、耐薬品性塗料、耐水性塗料 |
| その他 | 紙等のコーティング、自動車のシーラント、建築用シーリング材 陶器ガラス器の彩色、農薬の効力延長剤 |

PCBの性質

水にきわめて溶けにくく、沸点が高いなど物理的な性質を有する主に油状の物質です。また、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定な性質を有することから、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されてきましたが、現在は製造・輸入ともに禁止されています。

PCBとはポリ塩化ビフェニル化合物の総称であり、その分子に保有する塩素の数やその位置の違いにより理論的に209種類の異性体が存在し、なかでもコプラナーPCB（コプラナーとは、共平面状構造の意味）と呼ばれるPCBの毒性は極めて強くダイオキシン類として総称されるものの一つとされています。

PCBの毒性

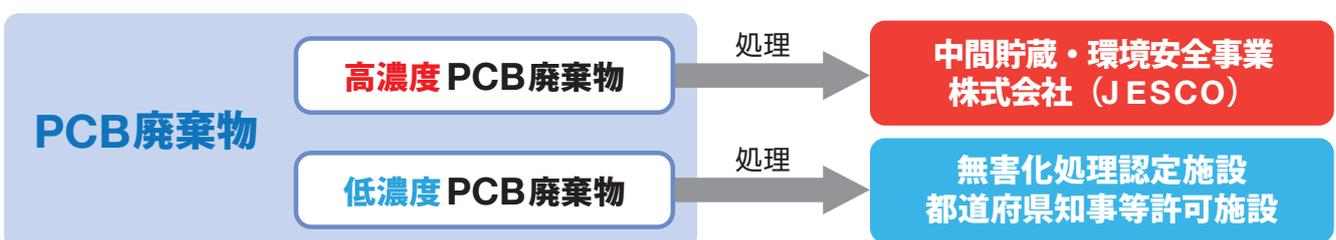
脂肪に溶けやすいという性質から、慢性的な摂取により体内に徐々に蓄積し、様々な症状を引き起こすことが報告されています。

PCBが大きく取りあげられる契機となった事件として、昭和43年に食用油の製造過程において熱媒体として使用されたPCBが混入し、健康被害を発生させたカネミ油症事件があります。一般にPCBによる中毒症状として、目やに、爪や口腔粘膜の色素沈着、ざ瘡様皮疹（塩素ニキビ）、爪の変形、まぶたや関節の腫れなどが報告されています。

PCB廃棄物の分類

PCB廃棄物は、PCB濃度により高濃度PCB廃棄物と低濃度PCB廃棄物に分類されます。

高圧変圧器・コンデンサー等の高濃度PCB廃棄物は中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）で処理を行っています。低濃度PCB廃棄物については環境大臣が認定する無害化処理認定施設及び都道府県知事等が許可する施設で処理を行っています。

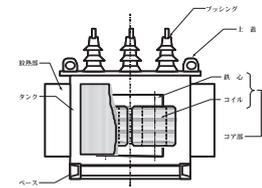


高濃度PCB廃棄物（PCBが使用された代表的な電気機器等）

PCB が使用された代表的な電気機器等には、変圧器やコンデンサー、安定器があります。変圧器（トランス）とは、ある交流の電圧をそれより高いか、又は低い電圧に変える装置であり、コンデンサーとは、電気を一時的に蓄える、電圧を調整する、位相を変化させる、といった効果を持つ装置です。

変圧器

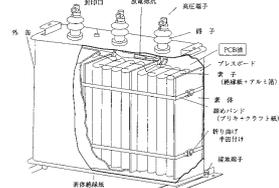
変圧器内はPCB とトリクロロベンゼンの混合液（重量比 3：2）で満たされています。例えば、50kVA の場合で約 115kg のPCB が入っています。



高圧変圧器の例

コンデンサー

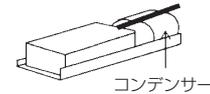
コンデンサー内はPCB で満たされています。例えば、100kVA の場合で約 35kg のPCB が入っています。



高圧コンデンサーの例

安定器

業務用・施設用の蛍光灯、水銀灯等の照明器具の一部に、数十g程度のPCB油が含浸されたコンデンサーを使用した安定器があります。



コンデンサーを内蔵する安定器の例

※それぞれの機器にPCB が使用されているかどうかは、次ページを参照してください。

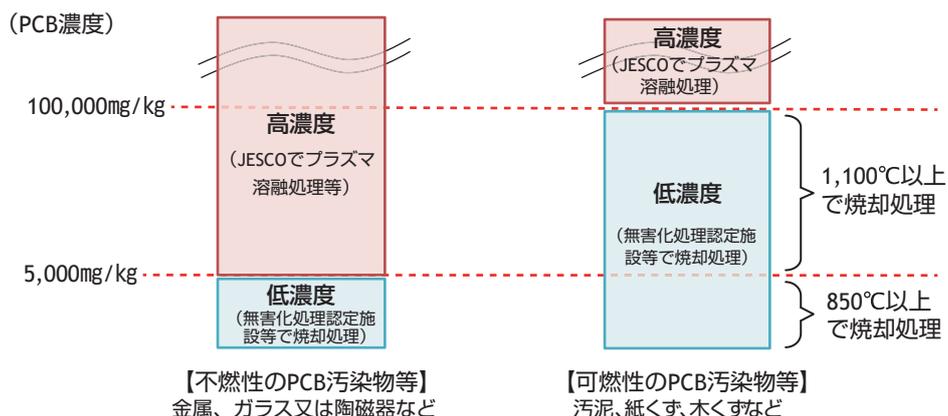
※上記の電気機器の他、PCB が使用されている電気機器には、低圧変圧器、低圧コンデンサー、その他機器（リアクトル、サーリアブソーバー、計器用変成器等）等があります。これらもPCB 特別措置法の届出対象となっています。

低濃度PCB廃棄物

PCB濃度が0.5mg/kgを超え5,000mg/kg以下のPCB含有廃棄物（可燃性のPCB汚染物等を除く）及び微量PCB汚染廃電気機器等（PCBを使用していないとする電気機器等であって、数mg/kgから数十mg/kg程度のPCBに汚染された絶縁油を含むもの）については、低濃度PCB廃棄物として適正に処理する必要があります。

橋梁等の塗膜、感圧複写紙、汚泥をはじめとする可燃性のPCB汚染物等については、PCB濃度が0.5mg/kgを超え100,000mg/kg以下が低濃度PCB廃棄物となります。

低濃度PCB含有廃棄物の濃度区分イメージ



PCB含有の有無を判別する方法

変圧器・コンデンサー等の場合

高濃度PCBかどうかの判別方法

昭和28年から昭和47年に国内で製造された変圧器・コンデンサーには絶縁油にPCBが使用されたものがあります。

高濃度のPCBを含有する変圧器・コンデンサー等は、機器に取り付けられた銘板を確認することで判別できます。

詳細は各メーカーに問い合わせるか、(一社)日本電機工業会のホームページを参照してください。

https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/pcb_hanbetsu.html

低濃度PCBかどうかの判別方法

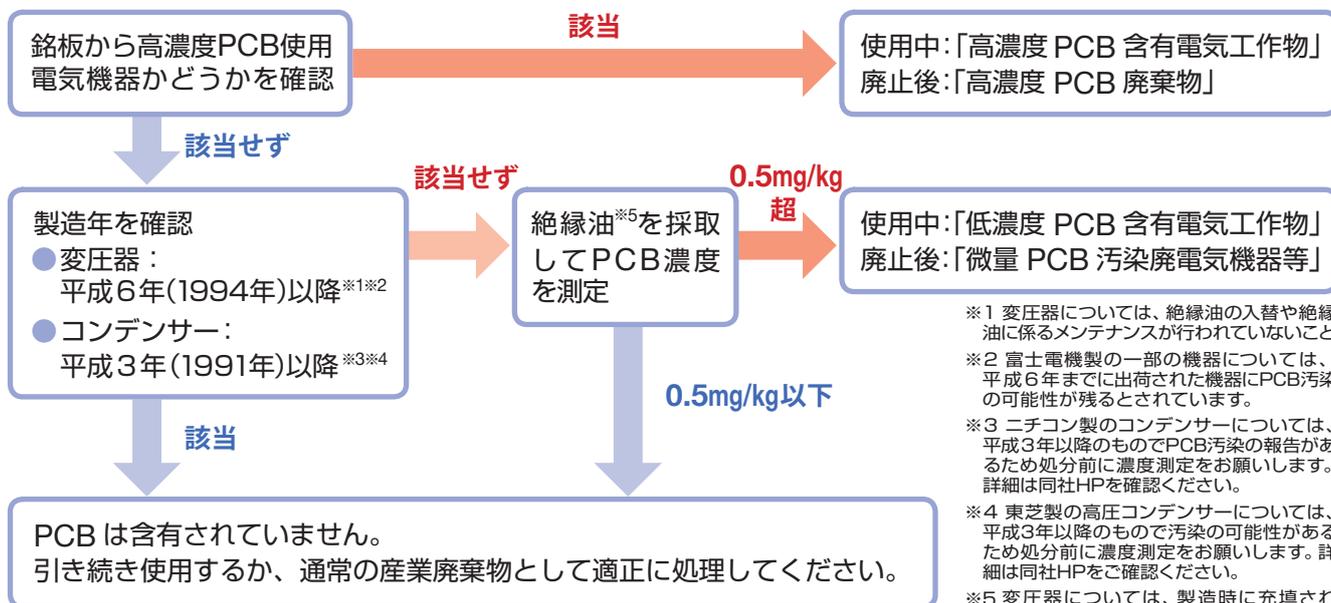
数万件に及ぶ測定例から、国内メーカーが平成2年頃までに製造した電気機器には、PCB汚染の可能性があることが知られています。

絶縁油の入替ができないコンデンサーでは、平成3年以降に製造されたものはPCB汚染の可能性はないとされています(ニチコン製のコンデンサーについては、平成3年以降のものでPCB汚染の報告があります。)

一方、変圧器のように絶縁油に係るメンテナンスを行うことができる電気機器では、平成6年以降に出荷された機器であって、絶縁油の入替や絶縁油に係るメンテナンスが行われていないことが確認できればPCB汚染の可能性はないとされています(ただし、富士電機製の一部の機器については、平成6年までに出荷された機器にPCB汚染の可能性が残るとされています。)

したがって、まず電気機器に取り付けられた銘板に記載された製造年とメンテナンスの実施履歴等を確認することでPCB汚染の可能性を確認し、さらに上記の製造年よりも前に製造された電気機器については、実際に電気機器から絶縁油を採取してPCB濃度を測定してPCB汚染の有無を判別します。ただし、コンデンサーのように封じ切りの機器では使用中のものを絶縁油の採取のために穿孔すると使用できなくなるのでご注意ください。

銘板確認のため、通電中の変圧器・コンデンサーに近づくと感電の恐れがあり大変危険です。必ず電気保安技術者に依頼して確認してください。



安定器の場合

製造から40年以上が経過するPCB使用安定器は、劣化して破裂し、PCBが漏れ出した事故が発生しています。このような事故は一度調査してPCB使用安定器が存在しないとされた建物でも起きています。サンプル調査を行ったことが原因と考えられますので全数調査を行うようにしてください。漏洩したPCBが人体にかかる危険性がありますので昭和52年3月までに建築・改修された建物で古い安定器が使用されていないか速やかに確認し、見つかった場合は取り外して交換してください。

PCB使用安定器かどうかの判別方法

昭和32年1月から昭和47年8月までに国内で製造された照明器具の安定器には、PCBが使用されたものがあります。

なお、一般家庭用の蛍光灯等の安定器にはPCBが使用されたものはありません。

PCBを含有する安定器は、安定器に貼付された銘板に記載されているメーカー、型式・種別、性能（力率）、製造年月等の情報から判別することができますので詳細は各メーカーに問い合わせるか、（一社）日本照明工業会のホームページを参照してください。

<https://www.jlma.or.jp/kankyo/pcb/index.htm>

また、PCB廃棄物として保管している安定器の中にはPCBを使用していない廃安定器が混在している場合があります。詳しくはJESCOのホームページを参照してください。

<https://www.jesconet.co.jp/customer/bunbetsusokushin.html>

銘板から PCB 使用安定器かどうかを確認

該当

使用中：
「高濃度 PCB 使用製品」
廃棄後：
「高濃度 PCB 廃棄物」

該当せず

PCB は含有されていません。ただし、耐用年数を過ぎていた照明器具は速やかに交換し、各自治体の指導にしたがって廃棄物として適正に処理してください。



蛍光灯安定器の劣化により蛍光灯機器からPCB油が漏れ出した例

銘板の取り付け例



高圧変圧器



高圧コンデンサー



銘板



安定器



銘板

汚染物等の場合

PCBが付着したり、染み込んだりしている汚染物等は、含まれているPCBの濃度を決められた方法で実際に測定することでPCB汚染物であるかどうかを判断します。測定の結果、PCBが検出されれば、特別管理産業廃棄物としてのPCB廃棄物となります。また、PCB汚染物等ではないことの判断基準に該当する場合は、産業廃棄物として分類されます。

汚染物等のPCB濃度の測定方法については、環境省から「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法（第5版）」が示されています。

ポリ塩化ビフェニル汚染物等の該当性判断基準について（通知）

<http://www.env.go.jp/recycle/recycle/1910111.pdf>

低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法（第5版）

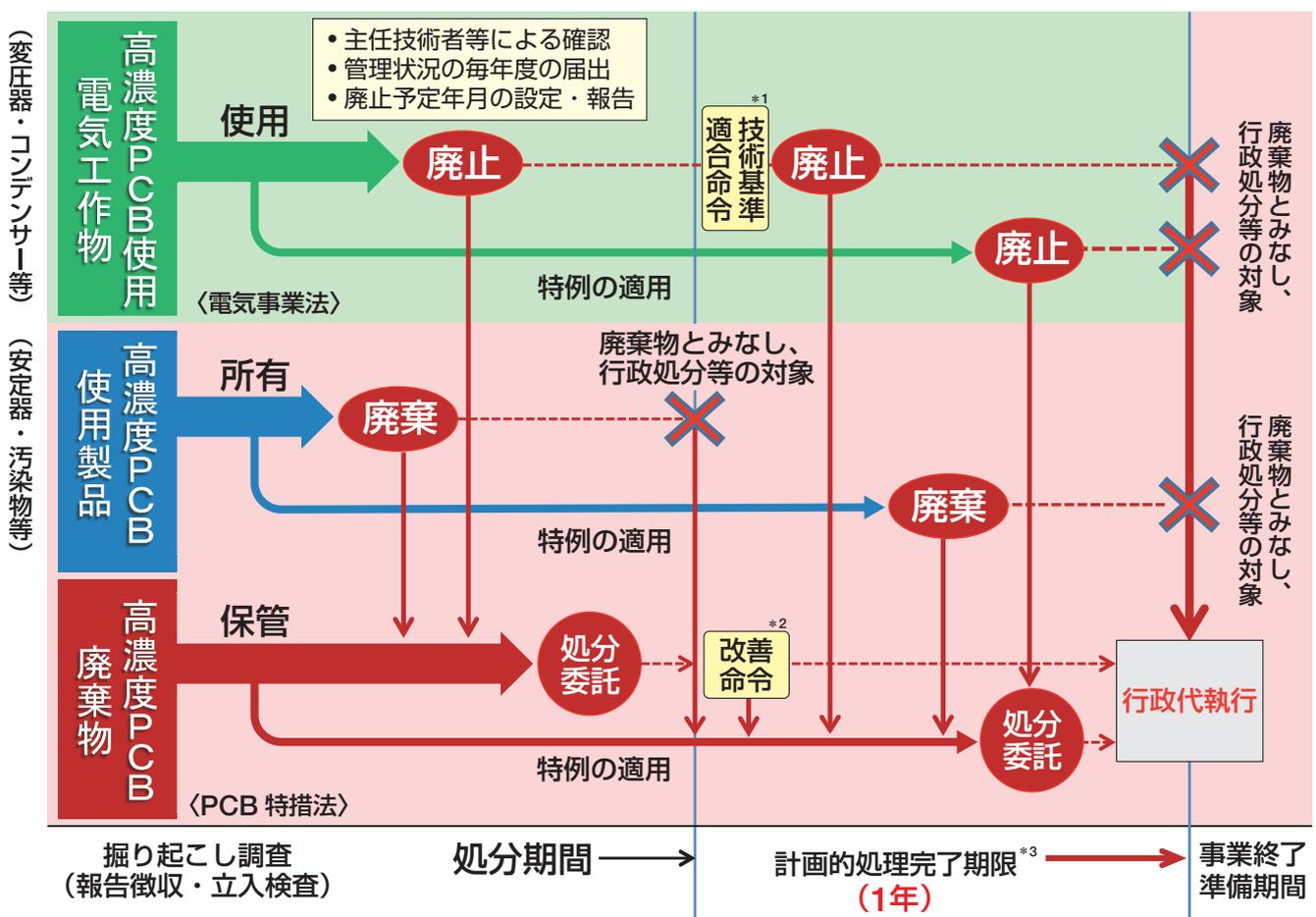
http://www.env.go.jp/recycle/poly/manual/teinoudo_ver5.pdf

高濃度PCB使用電気工作物・ 高濃度PCB使用製品・ 高濃度PCB廃棄物の処分までの流れ

高濃度 PCB 廃棄物は、地域ごとに定められた処分期間内に必ず処分しなければなりません
使用中の変圧器・コンデンサー及び安定器等についても、処分期間内に使用を終え、処分する必要があります

平成 28 年 8 月から施行されたポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（以下「PCB 特措法」という。）の改正に合わせ、使用中の変圧器やコンデンサー等の高濃度 PCB 使用製品についても処分期間内に使用を終えて処分するよう、電気事業法の「電気設備に関する技術基準を定める省令」等が改正されました。

高濃度 PCB 使用電気工作物、安定器等の高濃度 PCB 使用製品及び高濃度 PCB 廃棄物の処分までの流れを下図に示します。



高濃度 PCB 廃棄物等の処分までの流れ

(※1) 技術基準適合命令違反には三百万円以下の罰金が処せられます。
 (※2) 改善命令違反には三年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金又は併科が処せられます。
 (※3) 処分期間の末日の1年後である特例処分期限日（計画的処理完了期限と同じ日）を適用する場合は、PCB特措法に基づき、確実に特例処分期限日までにJESCOに処分を委託することを約した契約書の写し等を保管の場所を管轄する都道府県及び政令市（以下、「都道府県市」という。）の長に届け出る必要があります。
 使用中の高濃度PCB使用製品についても同様に、これらを廃棄する見込み等について都道府県及び政令市の長に届け出る必要があります。

都道府県市等が行うPCB廃棄物等の掘り起こし調査に御協力ください

現在都道府県市では、PCB 廃棄物を保有する蓋然性の高い事業者を対象にして未届出の PCB 廃棄物等の掘り起こし調査を実施しています。PCB 特措法の改正により、都道府県市による掘り起こし調査に関して、報告徴収や立入検査等の権限が強化されました。また、使用中の高濃度 PCB 使用電気工作物についても、電気事業法の「主任技術者制度の解釈及び運用」が改正され、電気主任技術者等が毎年度高濃度 PCB 使用電気工作物であるかを確認することが義務付けられました。

安定器を含め、高濃度 PCB が使用された電気機器や製品、廃棄物を保有していないかどうか、再度事業所内を確認するとともに、都道府県市や電気主任技術者が行う掘り起こし調査に御協力ください。

高濃度 PCB 廃棄物の地域別処分期間等

| JESCOの 処理施設 | 高濃度PCB廃棄物の 種類 | 保管の場所の所在する区域 | 処分期間 | 計画的処理 完了期限 | 事業終了 準備期間 |
|------------------|--|---|--------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 北九州 (北九州市若松区) | 廃PCB等、 廃変圧器、 廃コンデンサー 等 | 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、 佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、 鹿児島県、沖縄県 | 平成30年 3月31日まで (終了) | 平成31年 3月31日まで (終了) | 平成31年 4月1日から 令和4年 3月31日まで |
| 大阪 (大阪市此花区) | | 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、 和歌山県 | 令和3年 3月31日まで (終了) | 令和4年 3月31日まで (終了) | 令和4年 4月1日から 令和7年 3月31日まで |
| 豊田 (愛知県豊田市) | | 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 | 令和4年 3月31日まで (終了) | 令和5年 3月31日まで (終了) | 令和5年 4月1日から 令和8年 3月31日まで |
| 東京 (東京都江東区) | | 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 | | | |
| 北海道 (北海道室蘭市) | | 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、 山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、 長野県 | | | |
| 北九州 (北九州市若松区) | 上記以外の高濃度 PCB廃棄物(安 定器、汚染物等、 3kg未満の廃変 圧器等及びこれ らの保管容器) | 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、 和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、 広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、 高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、 大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 | 令和3年 3月31日まで (終了) | 令和4年 3月31日まで (終了) | 令和4年 4月1日から 令和6年 3月31日まで |
| 北海道 (北海道室蘭市) | 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、 山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、 長野県 | 令和5年 3月31日まで (終了) | 令和6年 3月31日まで | 令和6年 4月1日から 令和8年 3月31日まで | |

高濃度PCB廃棄物の処理について

高濃度PCB廃棄物については、JESCOで処理を行っています。JESCOに処理委託を行う場合、あらかじめ3kg以上の変圧器・コンデンサー等にあつては機器等登録、3kg未満の小型電気機器、安定器、汚染物等にあつては搬入荷姿登録を行う必要があります(使用中であっても登録は可能です)。詳しくはJESCO登録担当(03-5765-1935)までお問い合わせください。

中小企業者等の負担軽減措置について

中小企業者等がJESCOに高濃度PCB廃棄物の処理委託を行う場合、その料金(処理料金並びに収集運搬費用の一部)が軽減される制度があります。一定の条件を満たす中小企業者、中小企業団体等及び法人にあつては70%、個人にあつては95%の軽減を受けることができます。詳しくはJESCO中小軽減担当(0120-808-534又は03-5765-1920)までお問い合わせください。

3

低濃度PCB廃棄物等の処理について

低濃度PCB廃棄物の処分期間は **令和9年3月31日まで**

低濃度PCB廃棄物の無害化処理について

低濃度PCB廃棄物の処理はJESCOではなく、民間の処理事業者により行われています。

低濃度PCB廃棄物の処理事業者は、環境大臣が個別に認定する無害化処理認定事業者と都道府県市の長からPCB廃棄物に係る特別管理産業廃棄物の処分業許可を得た事業者があります。

低濃度PCB廃棄物についても計画的に、これらの事業者に委託して処理してください。

無害化処理事業者の連絡先等は環境省の以下のホームページで紹介していますので、個別にお問い合わせください。

<https://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html>

使用中の低濃度PCB含有電気工作物の処理について

使用中の変圧器に含まれる絶縁油が微量のPCBで汚染されていることが判明した場合は、変圧器の構造、PCB濃度、絶縁油量等によっては、使用しながら浄化する「**課電自然循環洗浄法**」が適用できる場合があります。経済産業省と環境省が取りまとめた「微量PCB含有電気機器課電自然循環洗浄実施手順書」に従って処理した変圧器は所要の手続きを行うことでPCB含有電気工作物に該当しない、また廃棄時においてもPCB廃棄物に該当しないものとなります。

課電自然循環洗浄については経済産業省の以下のホームページを参照してください。

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/kankyokeiei/pcb/index2_2.html

4

よくある質問

Q 建物の売買を予定していますが、PCB使用製品やPCB含有電気工作物が設置されているかどうか分からない場合はどうすればよいですか？

A 建物の売買契約を行う前に、キュービクルや電気室などに変圧器やコンデンサーが設置されていないか確認してください。設置されている場合は、これらにPCBが含まれるかどうかをまず売主が確認し、含まれていた場合は電気事業法及びPCB特措法に従い、所要の手続きを行ってください。当該電気工作物が使用中のものである場合には、地位の承継である場合を除き、売主が廃止届出を、また買主が新たに設置等届出を行う必要があります。また、売買する建物が昭和52年3月までに建築・改修された建物である場合には、PCBが使用された蛍光灯等の安定器が設置されたままになっている可能性があるため、十分に確認する必要があります。見つかった場合は、速やかに交換し、処理に係る所要の手続きを行ってください。なお、当該電気工作物や安定器がすでに廃棄され保管中のものであった場合は、PCB特措法において、譲渡し及び譲受けが原則禁止されており、売買が行われた後も売主が適正に処理する必要があります。

Q PCB廃棄物を保管していた倉庫を撤去することになりました。保管していた PCB廃棄物を他人に委託して保管してもらってもよいですか？

A PCB廃棄物の譲渡し及び譲受けは、地方公共団体に譲り渡す場合や特別管理産業廃棄物に係る許可を得た収集運搬業者又は処分業者に委託する場合等を除いて原則禁止されています。PCB廃棄物の保管事業者自らが管理する他の倉庫にこれらを移動して保管することは可能ですが、他人が管理する倉庫に移動して、他人に保管を委託することは譲渡し及び譲受けの制限の規定に反することになるので行ってはなりません。

Q 使用中の電気工作物に PCBが含まれていることが確認された場合はどうすればよいですか？

A 電気事業法〈電気関係報告規則〉に基づき、PCB含有が判明した後遅滞なく管轄する産業保安監督部等にPCB含有電気工作物の設置等届出を行う必要があります。また、新たに判明した電気工作物が高濃度PCB使用電気工作物であった場合には、年度末における廃止予定の年月等を含む管理状況を管轄する産業保安監督部等に毎年度届出を行うとともに、その電気工作物を設置場所ごとに決められた処分期間内に廃止し、PCB含有電気工作物の廃止届を行う必要があります。一方、新たに判明した電気工作物が低濃度PCB含有電気工作物であった場合には、課電自然循環洗浄を行うことで使用を継続できる場合があります。それ以外の場合には、処理施設の操業期間を勘案し、計画的に使用を終えて無害化处理する必要があります。

Q PCB含有電気工作物の使用を終えた場合はどうすればよいですか？

A 電気事業法〈電気関係報告規則〉に基づき、使用を終えた後遅滞なく管轄する産業保安監督部等にPCB含有電気工作物の廃止に係る届出を行う必要があります。また、電気工作物の使用を終えた時は、PCB特措法に基づき、事業所所在地の都道府県市に届出するとともに、電気工作物が高濃度PCB廃棄物である場合はJESCOに処分委託し、低濃度PCB廃棄物である場合は民間の処理事業者に処分委託する必要があります。

Q 電路から外した PCB含有電気工作物は、再使用してもよいですか？

A 電路から一度外したPCB含有電気工作物は、電気事業法〈電気設備に関する技術基準を定める省令〉により、電路への再施設が禁止されています。

Q 銘板が読み取れない安定器があります。どのように取り扱ったらよいですか？

A 安定器に内蔵されたコンデンサーは脆弱なため外部から力を加えると容易に破損してPCBが漏洩する危険性があるため、安定器は解体分解するなど形状を変更することが法律で原則禁止されています。したがって、銘板が読み取れない安定器であっても、コンデンサーを取り出してPCBを分析することは危険ですのでお止めください。銘板が読み取れない安定器については、同一の保管場所に保管されていたものであって、かつ銘板が読み取れた安定器と形状が同一と判断されるものであれば、そのPCBの使用・不使用の判別結果に準じて判断していただいても構いません。ただし、形状が同一と判断されるものがない場合はPCB使用安定器として適切に取り扱い、JESCOに処分委託するようにしてください。

Q 高濃度 PCB廃棄物の保管場所を変更したいのですが。

A 高濃度PCB廃棄物はその種類及び保管する場所ごとに処分期間が決められているため、原則保管場所を変更してはなりません。ただし、高濃度PCB廃棄物の種類に応じて決められた同一の区域内で保管場所を変更する場合、または、当該高濃度PCB廃棄物を確實かつ適正に保管することができる場所に保管場所を変更することについて、環境大臣の確認を受けた場合は変更することが特例で認められることがあります。

5

PCB廃棄物等の処分等に係る 手続きについて

使用中のPCB含有電気工作物に係る手続き

| 事例 | 対象 | 届出等の内容 |
|---------------------------|-----------------------------------|--|
| 新たに判明した場合 (現に設置しているもの) | PCB含有電気工作物 (高濃度含む) | 新たに判明したPCB含有電気工作物の事業場に係る事項、電気工作物に係る事項 |
| | 高濃度PCB含有電気工作物 | 上記に加え、管理状況の届出 電気主任技術者等の氏名・連絡先、廃止予定年月 |
| 設置者情報に変更があった場合 | PCB含有電気工作物 (高濃度含む) | 変更後の設置者等の氏名、住所（法人は事業場の名称 又は所在地）又は電気工作物に係る事項 |
| 管理状況（廃止予定年月）に変更があった場合 | 高濃度PCB含有電気工作物 | 変更後の廃止予定年月 |
| 廃止予定年月を処分期間を越えた年月に変更する場合 | 高濃度PCB含有電気工作物 | 処分期間の期限から1年を超えない期間に廃止することが明らかであることを証する書類として、処分委託することを約する書類の写し |
| 廃止した場合 | PCB含有電気工作物 (高濃度含む) | 廃止した事業場に係る事項、電気工作物に係る事項、 廃止年月日、廃止理由（譲渡し、課電洗浄による廃止も含む） |
| | 高濃度PCB使用電気工作物 | 高濃度PCB使用電気工作物を廃止した場合は、新たに保管することとなった当該電気工作物及び新たに処分した当該電気工作物の種類、型式、量など |
| 譲渡し・譲受けがあった場合 | PCB含有電気工作物 (高濃度含む) | 譲り渡した場合は廃止届出、譲り受けた場合は設置等届出 |
| 地位の承継があった場合 | 事業用電気工作物 (PCB含有電気工作物（高濃度含む）含む) | 地位の承継（相続、合併又は分割）の事実、承継の事実を証する書面 |

※電気事業法に基づく届出様式については、https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/electric/detail/pcb.html#2-2をご参照ください。

PCB廃棄物の保管及び処分に係る手続き

| 事例 | 対象 | 届出等の内容 |
|----------------------------|-------------------------|---|
| 保管する場合 | PCB廃棄物 | 保管場所等に係る事項、PCB廃棄物の種類及び量等 |
| | 高濃度PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 上記に加え、処分予定年月又は廃棄予定年月 |
| (新たに判明した場合) | 高濃度PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 新たに保管又は所有が判明したPCB廃棄物の種類及び量、保管場所等に係る事項、処分予定年月等 |
| 保管場所を省令で定める同一区域内で変更した場合 | PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 変更前後の保管場所等に係る事項 移動したPCB廃棄物等の種類及び量など |
| 環境大臣の確認を受けて保管場所を変更する場合 | 高濃度PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 変更前後の保管場所、当該廃棄物に係る事項、変更理由 |
| 処分した場合 | PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 処分したPCB廃棄物の種類及び量、保管場所等に係る事項 前年度分の処分のマニフェストのD票若しくはE票の写し |
| 処分期間の特例を適用する場合、届出情報を変更した場合 | 高濃度PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 当該事業場及び廃棄物に係る事項、処分予定年月、処分委託契約書若しくは処分委託することを約する書類の写し 変更した場合は変更前後の内容 |
| 譲受けがあった場合 | PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 譲渡者、譲受者に関する事項、譲受け年月日、対象廃棄物等 |
| 地位の承継があった場合 | PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 被承継人、承継人に係る事項、承継年月日、原因及びそれを証する書類、対象廃棄物等 |
| 全ての処分又は廃棄を終了した場合 | PCB廃棄物 高濃度PCB使用製品 | 事業場に係る事項、処分又は廃棄を終了した廃棄物に係る事項、処分受託者名、処分又は廃棄の終了年月 |

※PCB特措法に基づく記入要領、記載例は環境省ホームページ<https://www.env.go.jp/recycle/poly/todokede/index.html>をご参照ください。

* 様式のPCBの正式名は「ポリ塩化ビフェニル」、「報告規則」は電気関係報告規則、「特措法」はPCB特措法

| 様式* | 実施時期 | 提出先 | 罰則 |
|---|---------------------|---|-----------------------|
| PCB含有電気工作物設置等届出書 (報告規則様式第13の2) | 判明後遅滞なく | 管轄する産業保安監督部長 | 30万円以下の罰金 |
| 高濃度PCB含有電気工作物管理状況届出書 (報告規則様式第13の6) | 毎年度末の状況を翌年度の6月30日まで | 管轄する産業保安監督部長 (産業保安監督部等は都道府県等からの求めに応じ速やかに情報を提供) | 30万円以下の罰金 |
| PCB含有電気工作物変更届出書 (報告規則様式第13の3) | 変更後遅滞なく | 管轄する産業保安監督部長 | 30万円以下の罰金 |
| 高濃度PCB含有電気工作物管理状況届出書 (報告規則様式第13の6) | 変更後遅滞なく | 管轄する産業保安監督部長 | 30万円以下の罰金 |
| 高濃度ポリ塩化ビフェニル含有電気工作物管理状況変更届出書及び別紙 (報告規則様式第13の6及び別紙) | 変更後遅滞なく | 管轄する産業保安監督部長 | 30万円以下の罰金 |
| PCB含有電気工作物廃止届出書 (報告規則様式第13の4) ※課電洗浄による廃止時は同実施報告書及び添付書類も添付 | 廃止後遅滞なく | 管轄する産業保安監督部長 | 30万円以下の罰金 |
| PCB廃棄物等の保管及び処分状況等届出書 (特措法様式第1号(1)) | 毎年度分を翌年度の6月30日まで | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| PCB含有電気工作物廃止届出書 PCB含有電気工作物設置等届出書 (報告規則様式第13の4、第13の2) | 譲渡し・譲受け後遅滞なく | 管轄する産業保安監督部長 | 30万円以下の罰金 |
| 事業用電気工作物設置者地位承継届出書 (電気事業法施行規則様式第62の2) | 承継後遅滞なく | 経済産業大臣又は管轄する産業保安監督部長 | 10万円以下の過料 |

| 様式* | 実施時期 | 提出先 | 罰則 |
|---|------------------------------|-----------------------|------------------------|
| PCB廃棄物等の保管及び処分状況等届出書 (特措法様式第1号(1)) | 毎年度分を翌年度の6月30日まで | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| PCB廃棄物等の保管及び処分状況等届出書 (特措法様式第1号(1)) | 毎年度分を翌年度の6月30日まで | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| PCB廃棄物等の保管及び処分状況等届出書 (特措法様式第1号(1)) | 判明後速やかに | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| PCB廃棄物等の保管の場所等の変更届出書 (特措法様式第2号) | 変更後10日以内 | 変更前後の保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| 高濃度PCB廃棄物に係る保管場所の変更確認申請書 (特措法様式第3号) | 保管場所を変更しようとするとき | 環境大臣 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| PCB廃棄物等の保管及び処分状況等届出書 (特措法様式第1号(1)) | 毎年度分を翌年度の6月30日まで | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| 高濃度PCB廃棄物の処分又は高濃度PCB使用製品の廃棄の特例処分期限日に係る届出書、同届出事項の変更届出書 (特措法様式第5号、第6号) | 処分期間の末日まで 変更した場合は変更後10日以内 | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |
| 譲受け届出書 (特措法様式第8号) | 譲受け後30日以内 | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 3年以下の懲役 1000万円以下の罰金 |
| 承継届出書 (特措法様式第7号) | 承継後30日以内 | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 30万円以下の罰金 |
| PCB廃棄物の処分終了又は高濃度PCB使用製品の廃棄終了届出書 (特措法様式第4号) | 処分又は廃棄終了後から20日以内 | 保管場所を管轄する都道府県市の長 | 6ヵ月以下の懲役 50万円以下の罰金 |

PCB特措法についてのお問い合わせ窓口

| 都道府県 | | |
|------|--------------|-------------------------------|
| 北海道 | 環境生活部環境局 | 循環型社会推進課 011-204-5192 |
| 青森県 | 環境生活部 | 環境保全課 017-734-9584 |
| 岩手県 | 環境生活部 | 資源循環推進課 019-629-5366 |
| 宮城県 | 環境生活部 | 廃棄物対策課 022-211-2463 |
| 秋田県 | 生活環境部 | 環境整備課 018-860-1624 |
| 山形県 | 環境工ネルギー部 | 循環型社会推進課 023-630-2236 |
| 福島県 | 生活環境部 | 産業廃棄物課 024-521-7264 |
| 茨城県 | 県民生活環境部 | 廃棄物規制課 029-301-3027 |
| 栃木県 | 環境森林部 | 資源循環推進課 028-623-3098 |
| 群馬県 | 環境森林部 | 廃棄物・リサイクル課 027-226-2824 |
| 埼玉県 | 環境部 | 産業廃棄物指導課 048-830-3148 |
| 千葉県 | 環境生活部 | 廃棄物指導課 043-223-2757 |
| 東京都 | 環境局資源循環推進部 | 産業廃棄物対策課 03-5388-3573 |
| 神奈川県 | 環境農政局環境部 | 資源循環推進課 045-210-4151 |
| 新潟県 | 環境局 | 資源循環推進課 025-280-5161 |
| 富山県 | 生活環境文化部 | 環境政策課 076-444-9618 |
| 石川県 | 生活環境部 | 資源循環推進課 076-225-1474 |
| 福井県 | 安全環境部 | 循環型社会推進課 0776-20-0318 |
| 山梨県 | 環境・エネルギー部 | 環境整備課 055-223-1518 |
| 長野県 | 環境部 | 資源循環推進課 026-235-7165 |
| 岐阜県 | 環境生活部 | 廃棄物対策課 058-272-8217 |
| 静岡県 | くらし・環境部環境局 | 廃棄物リサイクル課 054-221-2424 |
| 愛知県 | 環境局 | 資源循環推進課廃棄物監視指導室 052-954-6236 |
| 三重県 | 環境生活部環境共生局 | 廃棄物対策課 059-224-2483 |
| 滋賀県 | 琵琶湖環境部 | 循環型社会推進課 077-528-3473 |
| 京都府 | 総合政策環境部 | 循環型社会推進課 075-414-4717 |
| 大阪府 | 環境農林水産部 | 循環型社会推進課産業廃棄物指導課 06-6210-9583 |
| 兵庫県 | 環境部 | 環境整備課 078-362-3281 |
| 奈良県 | 水循環・森林・景観環境部 | 廃棄物対策課 0742-27-8747 |
| 和歌山県 | 環境生活部環境政策局 | 循環型社会推進課 073-441-2692 |
| 鳥取県 | 生活環境部 | 循環型社会推進課 085-267-7684 |
| 島根県 | 環境生活部 | 廃棄物対策課 0852-22-6563 |
| 岡山県 | 環境文化部 | 循環型社会推進課 086-226-7308 |
| 広島県 | 環境県民局 | 産業廃棄物対策課 082-513-2963 |
| 山口県 | 環境生活部 | 廃棄物・リサイクル対策課 083-933-2988 |
| 徳島県 | 危機管理環境部 | 環境指導課 088-621-2259 |
| 香川県 | 環境森林部 | 循環型社会推進課 087-832-3229 |
| 愛媛県 | 県民環境部環境局 | 循環型社会推進課 089-912-2358 |
| 高知県 | 林業振興・環境部 | 環境対策課 088-821-4523 |
| 福岡県 | 環境部 | 廃棄物対策課 092-643-3363 |
| 佐賀県 | 県民環境部 | 循環型社会推進課 095-225-7108 |
| 長崎県 | 県民生活環境部 | 資源循環推進課 095-895-2375 |
| 熊本県 | 環境生活部環境局 | 循環型社会推進課 096-333-2278 |
| 大分県 | 生活環境部 | 循環型社会推進課 097-506-3127 |
| 宮崎県 | 環境森林部 | 循環型社会推進課 0985-26-7083 |
| 鹿児島県 | 環境林務部 | 廃棄物・リサイクル対策課 099-286-2596 |
| 沖縄県 | 環境部 | 環境整備課 098-866-2231 |

| 政令で定める市 | | |
|---------|------------|----------------------------|
| 旭川市 | 環境部 | 環境指導課 0166-25-6369 |
| 札幌市 | 環境局環境事業部 | 事業廃棄物課 011-211-2927 |
| 函館市 | 環境部 | 環境対策課 0138-85-8327 |
| 青森市 | 環境部 | 廃棄物対策課 0177-718-1086 |
| 八戸市 | 市民環境部 | 環境保全課 0178-511-6195 |
| 盛岡市 | 環境部 | 廃棄物対策課 019-626-7573 |
| 仙台市 | 環境局廃棄物事業部 | 事業ごみ減量課 022-214-8235 |
| 秋田市 | 環境部 | 廃棄物対策課 018-888-5713 |
| 山形市 | 環境部 | 廃棄物指導課 023-641-1212(内線870) |
| 福島市 | 環境部 | 廃棄物対策課 024-529-5266 |
| 郡山市 | 環境部 | 3R推進課 024-924-2181 |
| いわき市 | 生活環境部 | 廃棄物対策課 0246-22-7604 |
| 水戸市 | 生活環境部 | 廃棄物対策課 029-291-6917 |
| 宇都宮市 | 環境部 | 環境保全課 028-632-2420 |
| 前橋市 | 環境部 | 廃棄物対策課 027-898-5840 |
| 高崎市 | 環境部 | 産業廃棄物対策課 027-321-1325 |
| さいたま市 | 環境局資源循環推進部 | 産業廃棄物指導課 048-829-1607 |

| 政令で定める市 | | |
|---------|------------------|----------------------------------|
| 川崎市 | 環境部 | 産業廃棄物指導課 049-239-7007 |
| 越谷市 | 環境経済部 | 廃棄物指導課 048-963-9188 |
| 川口市 | 環境部 | 産業廃棄物対策課 048-228-5380 |
| 千葉市 | 環境局資源循環部 | 産業廃棄物指導課 043-245-6802 |
| 船橋市 | 環境部 | 廃棄物指導課 047-436-3812 |
| 柏市 | 環境部 | 産業廃棄物対策課 04-7167-1696 |
| 八王子市 | 資源循環部 | 廃棄物対策課 042-620-7458 |
| 横浜市 | 資源循環局事業系廃棄物対策部 | 事業系廃棄物対策課 045-671-2513 |
| 川崎市 | 環境局生活環境部 | 廃棄物指導課 044-200-0159 |
| 横浜須賀野市 | 環境部 | 廃棄物対策課 046-822-8523 |
| 相模原市 | 環境経済局 | 廃棄物指導課 042-769-8355 |
| 新潟市 | 環境部 | 廃棄物対策課廃棄物指導室 025-226-1411 |
| 富山市 | 環境部 | 環境政策課 076-443-2178 |
| 金沢市 | 環境局 | ごみ減量推進課 076-220-2521 |
| 福井市 | 市民生活部 | 環境廃棄物対策課 0776-20-5398 |
| 甲府市 | 環境部 | 環境総室環境政策課 055-241-4363 |
| 長野市 | 環境部 | 廃棄物対策課 026-224-7320 |
| 松本市 | 環境工ネルギー部 | 廃棄物対策課 0263-47-1350 |
| 岐阜市 | 環境部 | 産業廃棄物指導課 058-214-2170 |
| 静岡市 | 環境局 | 廃棄物対策課 054-221-1164 |
| 浜松市 | 環境部 | 産業廃棄物対策課 053-453-6110 |
| 名古屋市 | 環境局事業部 | 廃棄物指導課 052-972-2392 |
| 豊田市 | 環境部 | 廃棄物対策課 0565-34-6710 |
| 豊橋市 | 環境部 | 廃棄物対策課 0532-51-2406 |
| 岡崎市 | 環境部 | 廃棄物対策課 0564-23-6871 |
| 一宮市 | 環境部 | 廃棄物対策課 0586-45-5374 |
| 大津市 | 環境部 | 産業廃棄物対策課 077-528-2062 |
| 京都市 | 環境政策局循環型社会推進部 | 環境指導課 075-222-3957 |
| 大阪市 | 環境局環境管理部 | 環境管理課産業廃棄物規制グループ 06-6630-3284 |
| 堺市 | 環境局環境保全部 | 環境対策課 072-228-7476 |
| 東大阪市 | 環境部 | 産業廃棄物対策課 06-4309-3207 |
| 高槻市 | 市民生活環境部 | 資源循環推進課 072-669-3695 |
| 枚方市 | 環境指導課 | 環境指導課 050-7102-6014 |
| 豊中市 | 環境部 | 環境指導課 06-6858-3070 |
| 八尾市 | 環境部 | 循環型社会推進課産業廃棄物指導室 072-924-3775 |
| 寝屋川市 | 環境部 | 環境保全課 072-824-1021 |
| 吹田市 | 環境部 | 環境保全指導課 産業廃棄物指導グループ 06-6384-1799 |
| 神戸市 | 環境局 | 環境保全課 078-595-6191 |
| 姫路市 | 環境局美化部 | 産業廃棄物対策課 079-221-2405 |
| 尼崎市 | 経済環境局環境部 | 産業廃棄物対策担当 06-6489-6310 |
| 西宮市 | 環境局環境事業部 | 事業系廃棄物対策課 0798-35-0185 |
| 明石市 | 市民生活局環境室 | 産業廃棄物対策課 078-918-5784 |
| 奈良市 | 環境部 | 廃棄物対策課 0742-71-2226 |
| 和歌山市 | 市民環境局環境部 | 産業廃棄物課 073-435-1121 |
| 鳥取市 | 市民生活部環境局 | 環境保全課 0857-30-8092 |
| 松江市 | 環境・エネルギー部 | 環境対策課 0852-55-5671 |
| 岡山市 | 環境局環境部 | 産業廃棄物対策課 086-803-1303 |
| 倉敷市 | 環境リサイクル局リサイクル推進部 | 産業廃棄物対策課 086-426-3385 |
| 広島市 | 環境局業務部 | 産業廃棄物指導課 082-504-2225 |
| 呉市 | 環境部 | 環境政策課 0823-25-3032 |
| 福山市 | 経済環境局環境部 | 廃棄物対策課 084-928-1168 |
| 下関市 | 環境部 | 廃棄物対策課 083-252-7152 |
| 高松市 | 環境局 | 環境指導課 087-839-2380 |
| 松山市 | 環境部 | 廃棄物対策課 089-948-9959 |
| 高知市 | 環境部 | 廃棄物対策課 088-823-9427 |
| 北九州市 | 環境局環境監視部 | 環境監視課 093-582-2175 |
| 福岡市 | 環境局環境監視部 | 産業廃棄物指導課 092-711-4303 |
| 久留米市 | 環境部 | 廃棄物指導課 0942-30-9148 |
| 長崎市 | 環境部 | 廃棄物対策課 095-829-1159 |
| 佐世保市 | 環境部 | 廃棄物指導課 0956-20-0660 |
| 熊本市 | 環境局資源循環部 | 事業ごみ対策課 096-328-2362 |
| 大分市 | 環境部 | 廃棄物対策課 097-537-7953 |
| 宮崎市 | 環境部 | 環境指導課 0985-21-1763 |
| 鹿児島市 | 環境局資源循環部 | 廃棄物指導課 099-216-1289 |
| 那覇市 | 環境部 | 環境政策課 098-951-3231 |

電気事業法についてのお問い合わせ窓口

| 事業所所在地 | 窓口 | 電話番号 |
|---|------------------------|--------------|
| 北海道 | 北海道産業保安監督部 電力安全課 | 011-709-1725 |
| 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県 | 関東東北産業保安監督部 東北支部 電力安全課 | 022-221-4947 |
| 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県のうち熱海市、沼津市、三島市、富士宮市（昭和31年9月29日における旧庵原郡内房村の区域を除く。）、伊東市、富士市（平成20年10月31日における旧庵原郡富士山町の区域を除く。）、御殿場市、裾野市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、田方郡、賀茂郡、駿東郡。 | 関東東北産業保安監督部 電力安全課 | 048-600-0387 |
| 愛知県、長野県、岐阜県（北陸産業保安監督部及び近畿支部の管轄区域を除く。）、三重県（近畿支部の管轄区域を除く。）、静岡県（関東東北産業保安監督部の管轄区域を除く。）、 | 中部近畿産業保安監督部 電力安全課 | 052-951-2817 |
| 富山県、石川県、福井県（小浜市、三方郡、大飯郡及び三方上中部を除く。）、岐阜県（飛騨市（平成16年1月31日における旧吉城郡神岡町及び宮川村（昭和31年9月29日における旧坂下村の区域に限る。）、の区域に限る。）及び郡上市（平成16年2月29日における旧郡上郡白鳥町石臼白の区域に限る。） | 中部近畿産業保安監督部 北陸産業保安監督部 | 076-432-5580 |
| 滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県（中国四国産業保安監督部の管轄区域を除く。）、福井県のうち小浜市、三方郡、大飯郡、三方上中部、岐阜県のうち不破郡関ヶ原町（昭和29年8月31日における旧今須村の区域に限る。）、三重県のうち熊野市（昭和29年11月2日における旧南牟婁郡新鹿村、荒坂村及び泊村の区域を除く。）、南牟婁郡 | 中部近畿産業保安監督部 近畿支部 電力安全課 | 06-6966-6048 |
| 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、兵庫県のうち赤穂市（昭和38年9月1日に岡山県と気部日生町から編入された区域に限る。）、香川県のうち小豆郡、香川郡直島町、愛媛県のうち今治市（平成17年1月5日における旧越智郡吉海町、宮窪町、伯方町、上浦町、大三島町及び関前村の区域に限る。）、越智郡上島町 | 中国四国産業保安監督部 電力安全課 | 082-224-5742 |
| 徳島県、高知県、香川県（中国四国産業保安監督部本部の管轄区域を除く。）、愛媛県（中国四国産業保安監督部本部の管轄区域を除く。）、 | 中国四国産業保安監督部 四国支部 電力安全課 | 087-811-8587 |
| 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県 | 九州産業保安監督部 電力安全課 | 092-482-5520 |
| 沖縄県 | 那覇産業保安監督事務所 保安監督課 | 098-866-6474 |

このパンフレットの内容に関する問い合わせ先

環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課（ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室）〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL (03)6457-9096 FAX (03)3593-8264

■ 環境省地方環境事務所 お問い合わせ窓口

| | | | |
|------------------|--------------|-------------------------|--------------|
| 北海道地方環境事務所 資源循環課 | 011-299-3738 | 中国四国地方環境事務所 資源循環課 | 086-223-1584 |
| 東北地方環境事務所 資源循環課 | 022-722-2871 | 中国四国地方環境事務所・四国事務所 資源循環課 | 087-811-7240 |
| 関東地方環境事務所 資源循環課 | 048-600-0814 | 九州地方環境事務所 資源循環課 | 096-322-2410 |
| 中部地方環境事務所 資源循環課 | 052-955-2132 | 九州地方環境事務所 資源循環課 福岡事務所 | 092-437-8851 |
| 近畿地方環境事務所 資源循環課 | 06-6881-6502 | | |